

化槽導入の促進を積極的
に推進してまいります。

大平泰二議員 建築後退問題

問 平成19・20・21年の建築後退用地予算はゼロであった。この年の建築確認申請と買収対象件数について、また、地権者が市に譲渡を申請し、買収を求めた場合の対応について伺う。

さらに、建築後退用地ではないが、市道拡幅にともなう土地未買収の対応についても伺う。

答 建築確認受理件数及び買収対象件数は平成19年度392件の内12件、平成20年度399件の内9件、平成21年度289件の内20件です。また、今後譲渡を申請し買収を求められた場合の市の対応につきましては、「幸手市建築後退用地等買収要綱」に基づき、該当する用地につきましては、

国庫補助を活用し、予算の範囲内で買収してまいります。次に市道拡幅にともなう土地の未買収に關しましては、その都度、案件が発生した時点で1件1件解決してまいります。

枝久保喜八郎議員 市民総幸福量と まちづくりについて

問 プーターン王国の国民総幸福量の概念を、他の多くの自治体同様、限定財政下にある本市に置き換え、未来に向けたまちづくりとリンクさせたならば、駅西口区画整理開発は、全市民に長期間夢と可能性を与え続けるまちづくりの最終章とも言えるプロジェクトだ。

広範囲の投資効果と無限の可能性を有す同事業は、完成時を遠い後世に残すという責任を共有させてくれると同時に、それ自体が現市民の夢とな

り得る。市民総幸福量とはそういうものと理解するが市当局のお考えは。

答 市民総幸福量という考えを市政に置き換えた場合、市民がいかに現在の状況に満足し、将来に夢を持てるかということになるかと思えます。

行政の活動は、最大多数の最大幸福というように、多くの人の満足を求めて進めるものと考えます。

そして、今行っている教育施設の整備や子育て施策の充実などを着実に進め、20年後、30年後に住んでよかったと思われる幸手市を創るため、駅西口区画整理事業など市民に夢を与えられる施策も全力で取り組んでまいります。

中村孝子議員 駅西口区画整理 事業について

問 幸手駅周辺は、駅の片側しか整備されてい

ない、近隣と比べようのない状態であり、西口開発は住民の永年の願望です。県道幸手久喜線も非常に危険な道路のままです。そこで西口区画を区画整理で行わなければならない理由、幸手久喜線の拡幅に係る県との協議の合意点について伺う。

答 地域を取り巻く居住環境は、狭い道路状況に通過交通も増加しており、緊急車両の進入が困難な状況など、大変危険であると考えます。また、基盤整備が未整備な状況に加え、防災・防犯面においても課題の多い地区と認識しております。この様な課題を解決する方法は、区画整理が最善の方法であるとして、県も市も確認しているところです。

尚、県道幸手久喜線の整備は区画整理の実施を条件として、中5丁目側の拡幅を県が併せて行うことで合意しています。

6月定例議会の傍聴者

157人の方が傍聴されました。

9月定例議会のお知らせ

9月1日開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。

次回の日程について、傍聴者数について